

交 流 通 信



このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶ 広報秘書課 ☎ 22局0138

田原市の農業を学ぶ JICA研修生が田原市を訪問

田原市が行っている独立行政法人国際協力機構(JICA)の研修生の受け入れについてご紹介します。

●研修の目的

この研修は、開発途上国の研修生が母国のかんがい排水基盤の整備や農村開発のための基礎・応用技術を習得することを目的に行われています。田原市の農業は、豊川用水の通水により飛躍的に発展を遂げたことから、研修で学ぶ良い事例となっています。田原市では、この研修を昭和63年から毎年受け入れ、昨年度までに54か国・268名の研修生が来訪しています。

●平成22年度の研修の様子



▲ 稲作と豊川用水の現地視察

7月28日(水)から3日間、JICAの「かんがい排水・農村開発」コースの研修生が田原市を訪問し、豊川用水と田原市の農業について学びました。アフリカ



▲ 高松揚水機場の見学



▲ 園芸施設の見学

やアジアの10か国・10名の研修生は、農協の施設や豊川用水の揚水機場、初立池などを視察したり、水田や菊の温室を見学しながら農家の方の話を聞いたりしました。また、研

修期間中は、ホームステイを通じて市民との交流を深めました。

田原市での研修を、母国の発展と友好に役立てたいです。



スィーザーさん
(モザンビーク)

うという方は少ない状況です。

◆簡易耐震対策助成事業とは？

田原市無料耐震診断で『安全でない』と診断され、「補強工事はできないけど何か対策を行いたい」という方に助成を行う事業です。大規模地震災害時に被害に遭う確率が高い高齢者や障がい者の世帯の安全性を確保するため実施しています。

◆住宅の耐震化の状況は？

市では、昭和56年5月31日以前に新築された2階建て以下の木造住宅を対象に、無料の耐震診断を実施しています。地震に対して『安全でない』と診断された場合、補強計画(設計)の費用や補強工事にかかる費用の助成も行っています。しかし、実際に補強工事を行うという方は少ない状況です。

かんちゃん

防災まめ知識

64

地震に備えよう！ 簡易耐震対策助成事業

忍びよる巨大地震

●対象世帯

- 対象世帯
 - 次の要件をいずれも満たす世帯
 - ・ 高齢者(65歳以上) または障がい者などの地震災害時に援護を必要とする方だけで構成される世帯
 - ・ 田原市の耐震診断で「安全でない」と診断された住宅に居住している世帯

●対象工事

- 対象工事
 - ・ 筋交や耐力壁など構造軸組の簡易耐震補強
 - ・ 防災ベッドなど安全な居室づくり
 - ・ 屋根の軽量化など耐震上有効な工事
 - ・ その他、地震災害軽減に有効なもの

●助成金額

実費(限度額30万円)

●問い合わせ

建築課 ☎ 23局3526
防災対策課 ☎ 23局3548

